

## 2022年度 アルミニウム二次地金・同合金地金生産 70万トン台を維持

一般社団法人日本アルミニウム合金協会はこのほど2022年度（2022年4月～2023年3月）のアルミニウム二次地金と同合金地金の生産と出荷の実績を発表しました。

生産量は722,896トンで前年比5.0%減少し、出荷量も727,743トンと前年比5.6%の減少でしたが70万トン台は維持できました。

令和4年度の日本経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、緩やかな持ち直しが続いています。その一方で、世界的なエネルギー・食料価格の高騰や欧米各国の金融引締め等による世界的な景気後退懸念など、我が国経済を取り巻く環境には

厳しさが増しているとされております。

この様な経済環境の中で、アルミニウム産業界におきましても、我が国自動車メーカーの生産が、感染症による影響からの回復の途上にありながら半導体や部品供給の不足によって変調をきたし、アルミニウム製品総需要は2年ぶりに減少して3年連続で400万トン台には至らない見込みとなっております。

当アルミニウム合金業界におきましても、アルミニウム二次合金の需要を支えてきた我が国自動車メーカーの生産不調により、鋳物・ダイカスト需要が低迷することとなりました。

### アルミ二次地金・同合金地金の生産と出荷

		2020年度	2021年度	2022年度
総	生産量	697,999 (-11.8)	761,154 (+9.0)	722,896 (-5.0)
総	出荷量	706,965 (-11.6)	770,533 (+9.0)	727,743 (-5.6)
部 門 別 出 荷 量	ダイカスト	396,142 (-9.2)	421,886 (+6.5)	394,153 (-6.6)
	鋳物	178,787 (-13.9)	202,529 (+13.3)	200,588 (-1.0)
	板	52,657 (-1.5)	55,689 (+5.8)	52,355 (-6.0)
	押出	16,619 (-22.4)	16,739 (+0.7)	14,355 (-14.2)
	鉄鋼	37,385 (-28.0)	46,239 (+23.7)	41,315 (-10.6)
	合金メーカー向	23,549 (-12.4)	25,493 (+8.3)	23,856 (-6.4)

(単位：トン、カッコ内は前年比パーセント)

## 日本アルミニウム合金協会 定時総会と創立50周年記念祝賀会開催

一般社団法人日本アルミニウム合金協会は5月17日に東京霞が関の霞山会館で創立50周年の記念祝賀会を開催しました。総会では下記の新役員が選任されました。

会長 香山昌志氏（日軽エムシーアルミ）  
副会長 仲村嘉員氏（エスエスアルミ）  
副会長 林 繁典氏（大紀アルミ）  
専務理事 伊藤 浩氏

政府の最近の月例報告によれば、景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しているとされています。

政府は、足元の物価高などの難局を乗り越え、日本経済を新たな経済成長の軌道に乗せていくべく、「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」を打ち出し、金融政策、財政政策、民間投資を喚起する成長戦略を一体的に進める経済財政運営の枠組みを堅持し、機動的なマクロ経済運営を行っていくとしています。

一方、現下の情勢は、ロシアによるウクライナ侵攻

後の不確実性の高まりや、感染症による影響の継続、金融資本市場の変動、供給面での制約等、多くのリスクを抱えている状況にあります。

このような状況下、アルミ二次合金の需要を支えてきた我が国の自動車メーカーの国内生産が、半導体などの部品不足の制約による影響を受け、これによりアルミニウム二次合金生産量が伸び悩む状況が続いています。国内自動車メーカーには生産量の更なる回復を期待しているところです。

また、近年、カーボンニュートラルへの取り組みから、再生アルミに対する関心が高まっており、自動車のEV化関連では鋼材からアルミへのシフトも予想されています。地球環境保全の観点から、省エネや二酸化炭素の排出削減に寄与する重要な基礎素材であるアルミ二次合金の安定供給により、資材循環の一翼を担い、近年注目されているアルミ水平リサイクルにも貢献することができる当協会の果たすべき役割と責任の重大性は揺るぎないものと確信しているところであります。

おめでとぅーいす

功  
労  
者  
集  
合  
写  
真



## 創立50周年記念事業

日本アルミニウム合金協会は50周年の記念として次の行事を行いました。

- (1) 感謝状贈呈式  
特別功労者、功労者、実務功績者、永年役員勤続者、永年職員勤続者（2頁写真）
- (2) 記念講演会  
「地球温暖化とカーボンニュートラル」  
OFFICE KEIDA 代表 慶田一郎氏
- (3) 記念祝賀会

新会長の香山昌志氏の挨拶に始まり、経済産業省製造産業局金属課長の松野大輔氏の来賓挨拶、新副会長の仲村嘉員氏の乾杯で約120名参加の祝賀会を行いました。久々のフェイストゥフェイスの懇親会でしたので時間の経つのも忘れる大変和やかな会で、新副会長の林繁典氏の万歳で名残惜しく解散しました。



永年役員勤続

## 三ヶ根山あじさいまつり



三ヶ根スカイラインは西尾市から形原温泉を結ぶ約5 kmの道路で、「あじさいライン」として知られており、6月から7月上旬に約7万本のあじさいが咲く山路を抜けると、眼下に三河湾の大パノラマが広がります。

例年6月1日から6月30日まで「三ヶ根山あじさいまつり」が行われ、あじさいの花と三河湾の眺望が楽しめます。6月17日(土)には、三ヶ根山スカイライン山頂駐車場で、物産展や大抽選会などイベント盛りだくさんです。

(写真・あじさいと三河湾)

## 平原ホタル祭り

西尾市東部の平原地域は、トンボを始め、昆虫類、鳥類などの動物、蒲などの湿地に育つ植物や丘陵地帯独特の花など自然が多く残されている数少ない地域です。

周辺の沢では、ゲンジボタルのエサになるカワニナの生息が見られ、小学校・中学校の児童・生徒の科学部員がゲンジボタルの飼育と研究を行っています。ま

た地域住民も「平原ゲンジボタルの里保存会」を設立して保護に努めています。

今年は、6月7日(水)～11日(日)の期間、「平原ゲンジボタルの里2023ホタル祭り」が開催され、6月7日(水)～9日(金)の18時半～19時半には、室場小学校の児童と教員がパネルを使い、クイズも交えてホタルガイドをします。

## 社内情報

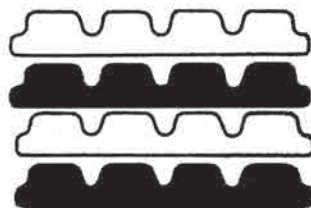
- ◎5月8日の新型コロナウイルス5類への移行に伴い当社もアクリル板を片づけました。
- ◎引き続き、事務所内のマスク着用と換気を継続して予防します。
- ◎今年は当社の高橋記念賞の該当者はありませんでした。
- ◎アルミ合金協会の会長・副会長職会社の社長交代で今回は顔ぶれが大きく変わりました。

## 編集後記

- ▣岸田首相念願でしたG7広島サミットが無事に閉幕しました。
- ▣各国代表が広島平和記念資料館を訪問されました。どんな会話があったのでしょうか。
- ▣ウクライナのゼレンスキー大統領の緊急訪問で緊張が増しました。
- ▣ロシアからの資源輸入、中国との貿易で成り立つ日本経済。今後の日本の立ち位置は？どうする日本。

## アルミ缶リサイクルング 鋳造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鋳造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 認証取得 (KHK-ISO CENTER)

**アスカ工業株式会社**

〒444-0303

愛知県西尾市中畑町卯新田上28

TEL <0563> 77-0500(代)

FAX <0563> 77-0501

<http://www.al-asuka.jp/>